

「暮らしと絵本」の棚、できました。

生活に身近な、「食べること」「装うこと」「体のこと」などをテーマに棚づくりをしました。そして、絵本はさらにたくさん！幅広くご紹介しています。

NEW

暮らしと絵本

赤ちゃんから大人まで幅広い年代の人に楽しんでもらえるよう、絵本や子育て、食、体に関する本などを並べています。

フェア棚

ギャラリー、イベント等の企画に関連した本やグッズを並べています。

八戸・青森に関する本

八戸や青森ゆかりの作家や、舞台となっている作品、歴史や文化など地域について知ることができる本を並べています。

②地元作家さん、応援中！

芥川賞作家である三浦哲郎をはじめ、近年では木村友祐さん、呉勝浩さんなど、八戸市は多くの作家さんを輩出しています。これに続くたくさんの書き手が生まれるよう、八戸ブックセンターは執筆専用の部屋「カンヅメブース」を備えており、300名を超える方に登録いただいています。部屋の近くには執筆の手助けとなるよう、お手本となるような文芸作品、書き方や本そのものに関する本などを並べ、さらにイベントとしてはショートショートや書評の書き方講座など、ワークショップや講座も開催していますのでぜひチェックしてみてください。(パワーブッシュ・執筆出版担当)

ギャラリー

特定の作家や作品に関する展示、本の印刷・造本・装丁に関する展示など、本にまつわるさまざまな展示を行います。

①羽仁もと子が教えてくれたこと

「よいことは必ず出来る」
150年前に八戸で生まれた羽仁もと子の言葉です。
ギャラリー展「羽仁もと子とわれらの研究室」(2023.12.2～2024.2.25)では、彼女の功績を振り返りました。女性が仕事に就くのが難しかった時代に日本初の女性記者として活躍し、パワフルに自分の運命を切り開いた彼女の言葉は、今も古びることなく、私たちを励ましてくれます。「暮らし」の棚の中にも、生活のヒントがたくさん。みなさんが、楽しく日々の暮らしを送れる一冊に出会えますように。(ギャラリー展担当)

NEW

ドリンクスタンド

リニューアルにともない、新メニューが登場！
アップルティー／hot・・・400円
焼きりんごほうじ茶／hot・・・400円
桑茶／hot・・・400円
ぜひお試しください！

③“幼年童話”というジャンル。

絵本を楽しんでいる子どもたちが、もう少し長めのおはなしを読みたいと思ったとき、おすすめしたいジャンルが「幼年童話」です。主に小学校1～2年生を対象としています。文字は大きめで、ふりがなつき。イラストも多いので、絵本からの橋渡しになってくれることうけあいです。・・・とはいえ、絵本を卒業する必要はないので、絵本と幼年童話、気分に合わせて行き来してみてください。それぞれの楽しさに気がつくと、本の世界がぐっと広がる気がします。(児童書担当)

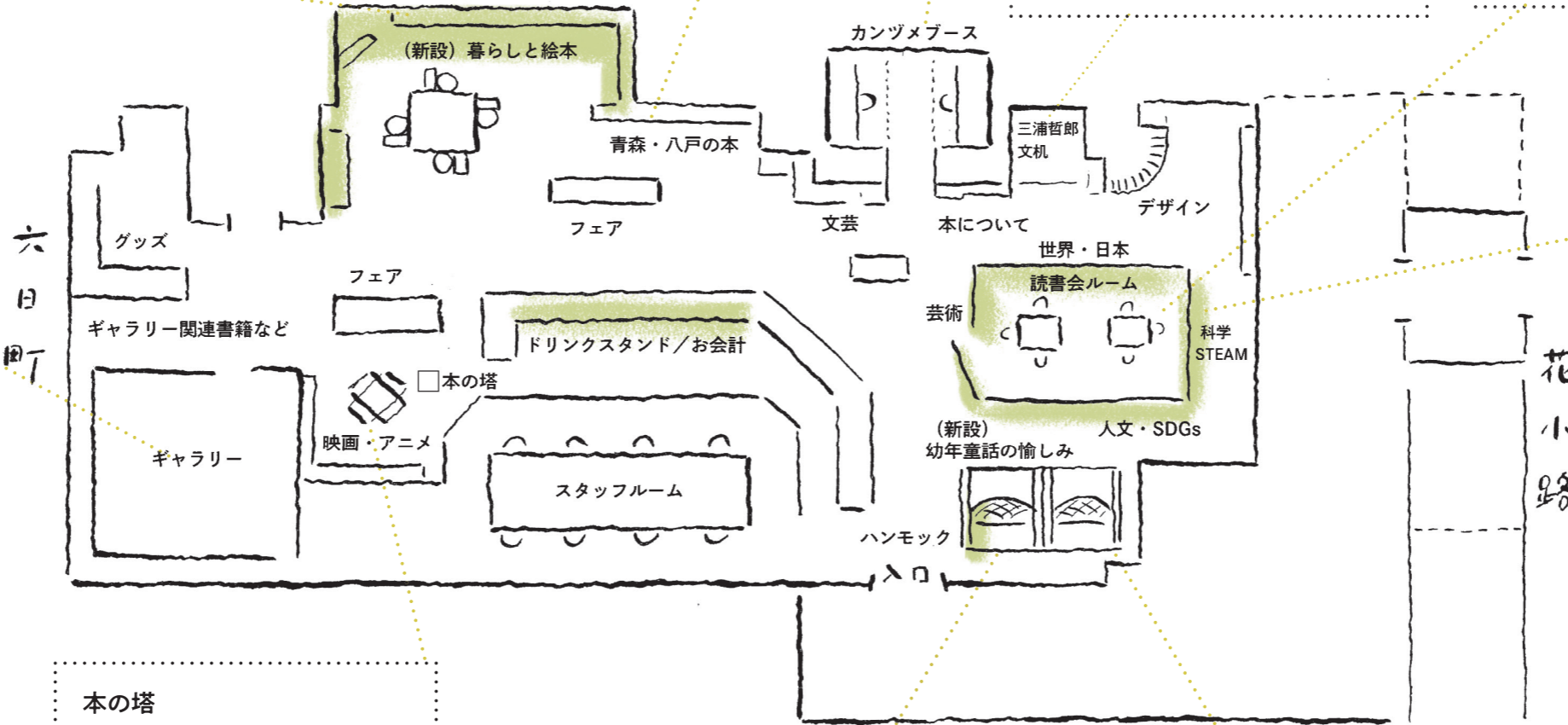
NEW

幼年童話

絵本より少し文章の多いものを読みたいという小学生の方にはおすすめの「幼年童話」をご紹介します。

ハンモック

ハンモックに揺れながら、本の世界に浸ることができます。



RENEWAL

知へのいざない

読書会ルームをとりかこむ4つの本棚、「自然」、「芸術」ではSTEAM教育の視点をとり入れ、「人文」の棚にはまちづくりやSDGsに関する本も並べています。「世界」の棚には、海外小説や写真・雑誌などもあります。

④核となる人文棚。

世界には古代から現代まで、知恵や英知が詰まっている名著がたくさん書かれています。ただそれが名著であったとしても「教養」や「哲学」と聞くと、何かこむずかしいことが書いている専門書なんじゃないかって、思ってしまうもの。
そこを、そんなことはない！、と新しい番組で提示したのが、今も放送しているシリーズ番組「100分 de 名著」(Eテレ)で、その道のエキスパートが誰にでもわかりやすく教えてくれる画期的な番組です。
ブックセンターの代名詞である「知へのいざない」人文棚の棚ぞろえは、この「100分 de 名著」のような入門となる本を多く取り揃えていますのでぜひ棚を眺めてふと目にとまった本を手にとり、ぱらっと読んでみてください。(人文書担当)

セレクトブックストア/知へのいざない。

どんな専門の本にだって、最初の一步となる本があるものです。
ブックセンターの棚にはそういった「はじめの一步」の本が並んでいます。